

# 【buy 恩人 . . . 選別る (える)】

ーノウハウ・マニュアル商材を見極めるヒントー

ダイエット・美容・恋愛/結婚・人間関係 . . .

英語/英会話・学習・受験・自己啓発・資格 . . .

音楽・ゴルフ・スポーツ . . .

アフィリエイト・FX/株取引・競馬 . . .

ネットには星の数ほど多くのノウハウ・マニュアル商材や悩み解消商品があります。

しかし、その中でも**優れたものはほんの一握り**です ね。( ; \_ ; )

だから、なかなか優れたものに巡り会えないのも、ある意味当然なのかもしれません . . .

でも、優れたものに巡り会えないのは仕方ないと諦められても、  
「なんだこりゃ～」と思うものを掴まされたら諦め切れませんよね。

事前に、ある程度は綿密に調査の上、評価検討して **選別る** ことさえできれば、

少なくともゴミ商品やクズ商品と呼ばれるものを少しでも避けて通ることができるので

はないかと思うのです。

はじめまして (^^)ゞ

**「買って得？買って損？」**のアンケートサイト **【buy 恩人】**です

ダイエットをはじめとして、  
ネットでは、魅力的な謳いの情報やノウハウ・マニュアル商材  
悩み解消商品がたくさんありますね！

**なにか買われたことがありますか？**

どうでしたか？

**「買って損したー」と**思うことの方が多かった～ ( ; \_ ; )  
それが現実ではないでしょうか？

つい最近までは、**「情報バブル時代」**と呼ばれ、中身の無いマニュアルでも  
飛ぶように売れた時代でしたから、特にこの傾向が強かったのではと思います。

しかし、世の中はうまくできているもので、  
そんなに甘い時代が続くはずもなく、  
中身で勝負しなければ  
勝てない時代になって来ているわけで・・・。

これが、皮肉にも競争原理の自然の流れなのでしょう。

巧みなレターに騙された人の逆襲が始まったとでもいうことかもしれません。

**「私だって、調べるのは調べているわよ。  
でも、レビューって書いてあるページに行っても、みんな褒め言葉ばかりで・・・。  
それも、ついさっき見たページと一緒の文章。コピーしたかのような文章ばかりなのよ。  
とても信じられないわ。  
ひどいサイトは、商材のページそのまま引用して、それで“レビュー”だってさ。」**

そうなんですネ。

ひどいになると、「レビューを見る」をクリックしたら、そのまま商品説明のページに飛んだりするものも多かったです。

ノウハウ・マニュアル提供者の方だって、いまだに「情報バブル」時代の残党は、その甘い蜜を忘れずに、残りの蜜を漁ろうとしていますものね。

けれども、出されているノウハウ・マニュアル商材も、今では、「ほとんどがまがいもの」ということはありません。

**着実に、そして急速に、情報バブルとは逆方向に正常化しつつあるのは確かです。**

**ネットだからこそ発信できる情報も活かされつつあります。**

このレポートは、少なくとも、あまりひどいマニュアルを買ってしまわないための

基本的なポイントと**選別り方**を拙いながらご紹介していくものです。

**最後のページには、選別り方のフローシートをつけてあります**ので、

宜しければチェックシートとしてご活用ください。

■注記■

「選別る」、「選別り方」は正しい日本語ではありません。  
創作語です。m( )m

## ■調査ステップ1・・・特定商取引法に準じる表記について

これは、あまりにも当たり前ですから要点だけに止めます。

特定商取引法に準じる表記のない販売ページは**違法**になります。

したがって、

特定商取引法に準じる表記のない販売ページで売られているような商品は

**確実に危険ですから無視しましょう。**

一方、

**特定商取引法に準じる表記があるからといって、  
必ずしも安心できるわけでもありません。**

特に、

**住所は確かに実在する住所か？**

ということと、

**電話番号が記載されているか？**

は**必ずチェックしてください。**

不備があったり、怪しいと感じるものがあれば、  
調査するか検討を中止する方が確実に賢明です。

要は、

**販売者を完全に特定できる情報が洩れなく記載されていることを**

**確認できなければ危険**です。

## ■調査ステップ2・・・著者について

普通はまず、「誰が書いているのか？」という著者のことが気になりますね。  
はたして、誰が書いているのかは、最も肝心なところです。

### 第1 関門：著者が明確であるか？

著者名が書いていない、あるいはウヤムヤである場合は、  
警戒しなければなりません。

ただ、著者を明記していない場合には、**著者と販売者が同じ場合**があります。

この場合は、**信頼がおける場合と信頼がおけない警戒レベルの両極端**  
を考える必要があります。

次の項目「調査ステップ3」と重複することになりますが、著者の素性  
を正確に掴んで判断しなければならないことを頭にいれておいてください。

例えば、当【buy 恩人】でアップしている「南優子式ダイエット」  
著者である南優子さんは、同時に販売者でもあります。

この場合は、南優子さんが自分で執筆し自分で販売されているということです。

当たり前ですが・・・。

ここで、  
南優子さんが、販売者として他にも何かの商材を出しているかどうかを調べます。

南優子さんが販売している infotop という ASP にアフィリエイトとして登録  
をしている人であれば、infotop の自分のページで簡単に調べることができます。

infotop でアフィリエイト登録をしていない人は、web で「南優子」で検索して  
調査する方法で調べます。

ただ、これで検索すると、商品の紹介ページがいっぱい出てくるので大変です。

アフィリエイトはその他の商品も沢山紹介していますので、  
例えば、ダイエットとは全然関係の無い言葉と「南優子」が  
セットで表示されるようなこともあります。

「南優子」では、あまりないようですが、  
「あれっ？」と思うような組合せで出てくることがありますので、  
調べるのに時間がかかります。

そこで、【南優子 **特定商取引**】で調べると**時間が大幅に短縮**されます。

すなわち、ここでのポイントは

**【著者名 特定商取引】で調べる** ということですね。

その結果、南優子さんは、

「南優子式ダイエット」というノウハウ・マニュアル**だけ**を専門に、  
販売をどこにも依頼せず自分で販売しているということが分かります。

これは、どういうことかという、

**『自分で全ての責任を負って』販売している**

ということになります。

別の言い方をすれば、**責任の逃げ場が無い** ということになります。

**このことだけをピックアップすれば、警戒レベル**ですが、  
独自の決済ではなく、infotopという大手のASPを使って販売している  
という点を加味すると、逆に**信頼度はかなりアップ**することになります。  
**まだ全部ではないですよ！**

まだ、調査ステップ3とも重複した調査ステップ2ですからね・・・。

ここで、あなたに**宿題**を出しておきましょう。

【buy 恩人】で訪問客さんからのリクエストでアップしている  
「簡単ラクラク速攻ダイエット」というダイエット・マニュアルを  
同じように調べてみてください。  
全部読み終えてから、一連で作業されてもいいですよ。

## 第2 関門：著者が実在するか？

著者名が書いてあっても、**架空の人物であれば警戒した方が無難**です。

実在がウヤムヤである場合は、まず警戒しなければなりません。

「カリスマモデルのダイエット」における「早乙女唯」がいい例ですね。

ただ、**次のような場合もあり得る**ことは頭の片隅に置いてください。

**著者はプロだが、実名を出すのがイヤで架空の名前で執筆している。  
だが、内容的には非常に充実したプロならではの優良なものである。**

これだと、架空の人物であろうと、ASPのガイドラインを満たしていまいと、消費者にとっては有益なものになっちゃいますね。

実際には、そのような例はまだ知りませんが・・・。

【buy 恩人】が架空の人物の名前で何かのノウハウマニュアルを出すという事態にでもならない限り、実際には有り得ないかもしれません。(笑)

架空の人物かどうかを調べるのは、非常に難しい作業です。

【buy 恩人】でも「早乙女唯」の実在確認は困難を極め、結局不明のままに終わりました。

実際、

---

196X年6月12日生まれ。元ファッションモデル。

日本はもとより、海外でもアジアビューティーの先駆けとして高い評価を受け、引退までモデル界で活躍。

それまでモデル界のシークレットとされてきたダイエット法を独自に体系化し、「モデダイ」としてネット上でリリース。

食事制限なし、運動なしを売りにして、瞬く間に情報商材、美容・健康の部を席卷する。

現在は2児の母として主婦業に専念している。

---

なる情報は見つけていたのですが、裏づけが全く出来ませんでした。

「早乙女唯は実在するか？」とブログ発信して、その後「お蔵入り」と判定した直後、ASPから発売が中止されました。

理由は「実在の証明」が販売者から結局提出されなかったということです。

### 第3 関門：著者はそのマニュアル内容に関するプロか？

著者名が書いてあっても、本当にその道のプロかどうか大切なことです。  
例えば、「ダイエットカウンセラー」という肩書き、あるいは「心理カウンセラー」という肩書きならば、私でも勝手に付けて、ダイエットや心理に関する情報を集めてライティングをすれば出版することが出来ますね。

だから、

**「自称\*\*」というだけでは「信用アップ」という要素にはなりません。**

これが、「臨床心理士」となると、  
これは公的に認知された正式の資格ですから、  
プロに間違いがないと判断できます。

では、「ダイエット・マスター」はどうでしょうか？  
こちらは、公的ではありませんが、民間の資格として認知されていることが分かります。まあ、プロだ信用してもいいでしょう。  
但し、本人が偽証していない限りという条件がつきますが・・・。  
そのために、資格の認定証が画像で証拠として提示されていたりします。

先ほどの「南優子」さんはどうでしょうか？  
何も肩書きを冠されていません。  
従って、**何のプラス要素もないわけです。**

【buy 恩人】としては、  
ほとんどが、自称「ダイエットアドバイザー」とか自称「ダイエットコンサルタント」を名乗っている中で、何も冠しないでマニュアルを出版していることに逆に興味を覚えました。

何のプラス要素もない。むしろ、プロじゃないかもしれないという警戒レベルでマニュアルの詳細説明の評価に入ってしまったわけです。

内容で、プロに匹敵するかどうかを見極める作業が必要になるわけです。  
もちろん、**肩書きがあっても最後は内容で評価していかねばならない**ことは言うまでもないことですが・・・。

次に、著者がものすごく有名人である場合があります。  
あるいは一般的にはあまり知られていないが、その道では有名という場合もあります。  
そして、有名ではなくとも社会的な地位がある場合もあります。  
「大学教授」とか「博士」とか「弁護士」とかですね。

この場合は、まず「信用面」では大丈夫と考えられます。  
これは、「有名であるから」「地位があるから」という理由ではなく、  
その有名や地位を自ら貶めるような自殺行為を公のインターネットで  
するはずはないだろうという意味から、信頼感が出ます。  
東京福祉大学の総長は、「公ではない場」だから分からないとでも  
思っていたのでしょうか。恥ずかしいですね！

【著者名】だけで検索をかけた段階で一発でたくさんのサイトが出て来ます  
から、調べるには容易です。

例を挙げますと、「理学博士の松崎五三男先生」の「アイファンタスティック」  
【松崎五三男】で検索してみてください。  
AMAZON の著作物のページなどが沢山並びます。

もう少し深く調べたければ、【著者名 **wiki**】で調べてみてください。

松崎五三男先生でも wikipedia には出てきませんが・・・、たとえ出てこなくとも  
いろいろ副産物が出てきます。

「何故、松崎先生ともあろうものが、怪しげな電子ブックに手を染めるのか？」  
という感想もあるようですが、これは少し偏見だと思います。

ネット社会での新しい電子ブックの誕生期に、そのように思われる気持ちは  
過渡期としてよく分かりますが、普通の、出版社と作家のビジネス関係と  
同じことなのですね。

後でも説明しますが、販売業者が松崎先生に執筆をして欲しいと営業をかけた  
結果、商談がまとまって電子ブック化されているというパターンです。

但し、契約における金銭的な内容、販売者の素性が不確かですので、  
有名だからといって、内容の充実度に反映されるとは限らないかもしれません。

## ■調査ステップ3・・・販売者（販売元）について

誰が（どこが）販売元かは、著者以上にとても重要なところになります。

販売元は、ネット外の普通の出版社とは違い、無名の個人が起業した所謂、情報企業家＝インフォプレーナーという人たち個人か会社となります。

従って、当然**無名**です。

無名だからこそ、販売者については十分に調べておく必要があります。

もちろん、大手のASP の場で販売されている限りは、まずは大丈夫でしょうが、**楽天でも詐欺業者がいくつも出ましたから絶対ということはありませんね。**

ここで調べておきたいのは、

**この販売元がどういった商材を売っているのかという点** なんです。

### 第1 関門：販売元が他の商材を出しているか？

他の商材を出していたなら、**今までにトラブルになった商材がないかどうか？**を調べておきましょう。

他の商材でトラブルがあったり、悪評があった場合は、この販売元の提供する商材には全て警戒するべきですからね。

他に商材を出していないのなら、あるいは、出しているが全てが首尾一貫したカテゴリーの商材で統一されているなら、該当する商材のジャンル専門で営んでいると結論できます。

そうなると、少し安心感が出ます。

少しですよ。まだ全面的に安心してはいけません。

例えば、当【buy 恩人】開設後の2007年11月～12月。

2ヶ月連続セッション数No.1の「ラストダイエット」で考えてみましょう。

「特定商取引法に準じる表記」では、

販売業者：芦屋アートオブリビング 責任者：浜野雅也 と記載されています。

従って、「芦屋アートオブリビング」と「浜野雅也」とで検索します。  
「芦屋アートオブリビング」で検索すると、2件しか出てきません。

その2件は「ラストダイエット」の「特定商取引法に準じる表記」のページと  
「お申込み手続き」のページです。

次に、「浜野雅也」で検索します。

2005年夏の甲子園の兵庫県代表のページが並びます。

販売業者の住所が神戸市であることから、ひょっとして関係があるのかもと思いつつ、そのあとラストダイエットをアフィリエイトしているページなどが並んでいるのを眺めていきます。

特に、何か他の商材に関わるようなページは出てきませんね。

どうやら、この販売者はこの商品のみ専業で販売していると判断出来ますね。  
(調査した時点です。将来的には複数のビジョンがあるかもしれませんが、それは分かるべくもありません。)

ここで、少し安心できます。

何でもかんでも扱っていないと言うところで、「信頼感」が少し湧きます。

何故でしょうか？

逆にお聞きします。

何でもかんでも扱っているお店を信頼しますか？

「ダイエット」を扱っている会社が「株取引」とかも扱っていたら  
どうでしょうか？

あなたは信頼しますか？

インターネットにおける電子ブック販売の専門を目指しているなら、  
それはそれで大義があることなので構わないのですが、まだ歴史が浅い分  
とてもビジネスと呼ぶには恥ずかしいモラルの販売者も居るからです。

何でもかんでも扱っている販売者がであるなら、

**そのいくつかを必ず見に行きましょう。**

見に行って、何か怪しげだと感じるものがあれば警戒レベルです。

仮にもあまり関連性の無い商品を扱っていたのなら、単なる商売人と警戒して  
ちょうどいいかもしれません。

事実、このような販売者は居ます。

あるときは「ダイエット」の著者、あるときは「fx」の著者兼販売者、  
またまたあるときには「・・・」の販売者。

どうでしょうか？

何を感じられますでしょうか？

いろんなジャンルのマニュアルを執筆し、  
それ以外にもいろんなマニュアルを販売している。

「スーパーマンだ！カッコイイ！！」 でしょうか？

**「この人、何屋さん？」になりませんか？**

**実は、このケースを一番警戒しなければならないのです。**

少し前までに全盛を極めた情報バブル時代に、

**このような手法＝プロでなくても情報を寄せ集めて煽り文句だけで稼いだ  
という甘い蜜の味を覚えた残党がまだ残っているという事実**  
も頭に入れておいて欲しいんです。

この種の販売者は、いろんな情報を寄せ集めて作成しだけのノウハウ・マニュアルを  
**巧みな心理誘導レターで煽って売っているだけ**ですので、まずクズと考えて  
間違いはないでしょう。

ただ、一般社会における出版会社のように、販売を専門とするところもあります。  
その道のプロに電子ブックへの執筆依頼を商談として持ちかけ、成立すれば  
出版するというまともなビジネスとしてのケースです。

中身を競うために、より質の良い上位のプロを開拓営業できるビジネス力が  
問われる時代に既に入ってきているわけです。

上のように、こういった正道ビジネスをする力量や開拓する力量がないがために、  
姑息な手段で生きながらえようとしているケースと区別することが大切です。

## 第2 関門：販売者サイトの環境はどうか？

### ① 販売者のサイトが無料サイトかどうか？

マニュアル商材を紹介しているアフィリエイトさんのサイトではありませんよ。  
このマニュアル商材を販売している販売元のサイトのことです。  
こちらが、無料サイトならば、あまり信用おけるとは言えません。  
ネットショップが、無料ホームページで店を開いているようなものです。  
但し、100%そうだとも言えないことも念頭に置いて下さい。

### ② 決済方法を独自でやっているかどうか？

こちらは、ネットショップと同じ理屈は当てはまりません。  
ネットショップでは、楽天やYahoo ショップとかのモールに加盟していない限り、  
多くの店が独自決済をしています。  
楽天やYahoo ショップでないからといって信用がないということは全くありません。  
むしろ、ショップの場合はその独自性の方が高く評価されると思います。

が、ノウハウ・マニュアルは、まだまだこれは当てはまりません。  
情報と言う性質上、決済が先払いになります上に、  
まだまだネットショップとは比較にならないほど障壁が低いのが現実です。  
独自に販売しているところには気をつけた方が賢明です。

【buy 恩人】でご紹介しているノウハウ・マニュアルや商品は全て、既に信用を  
裏切るにはリスクが大きすぎるほど地位を築いているASP 経由しか扱っていません  
ので、その点は安心していただけます。  
問題は、他で独自に販売されているノウハウ・マニュアル商材には、  
この点をしっかりと検証していただかねば危険だと言えます。

何故でしょうか？

ASP で販売した方が確実に売上も有利なのに、何故独自ですか？

その点を考えれば自然に導かれる結論ですから・・・。

「詐欺かも？」という可能性は拭えませんかね。

## ■調査ステップ4・・・該当マニュアルの評価に関して

①該当マニュアルに悪評判はないか？

②販売者が出している商材に悪評判のあるものはないか？

みなさんも、きっと、調査しようとされて苦労された経験をお持ちでしょう。

これらを調べるのは、なかなか難しく手間がかかるものなのです。

ここでは、どうやって調査していくのかを見てみましょう。

複合キーワードで検索していきます。

どのような複合キーワードで検索するかと言えば、

**【商品名 レビュー】 【商品名 評価】ではだめです。**

と言うより、次のステップで実施する方が合理的です。

まずは、次の複合ワードで検索してください。

**【商品名 ダメ商材】 【商品名 クズ商材】 【商品名 ゴミ商材】**

or

**【著者名 ダメ商材】 【著者名 クズ商材】 【著者名 ゴミ商材】**

悪評がある場合は、この検索で必ず引っ掛かってきます。

**悪評を見つけた場合は、一つの意見だけでなく複数見つけてください。**

複数で悪評がある場合は、かなり危険だと判断できます。

この悪評に対して、論理的に反論している書き込みがいくつかあるならば、買った人のレベルによって大きく評価が分かれているという可能性もあります。一概に「クズ商材」と断定することも出来ません。

悪評が見当たらなければ、

とりあえずは、「悪評が立つほどではない」という認識にしておいてください。

**悪評が見当たらないということは、「安全だ」ということではありません。**

これが終わると、次に、先ほどに挙げた

【商品名 レビュー】 【商品名 評価】での検索に入っていきます。

【著者名 レビュー】 【著者名 評価】でも構いません。

いっぱいレビューサイトが出てきます。

それぞれが、きちんとしたレビューされているのならありがたいことなのですが、

- ・ 名目はレビューだが、単なるセールス文のコピー
- ・ 自作自演のレビュー
- ・ 仲間同士でつるんだ自作他演、他作自演
- ・ レビューをクリックしたら商品ページに飛ぶという悪質な偽装

**など、信頼できるレビューサイトは数えるほどしかありません。**

まっとうなレビューサイトは探すのに苦労するぐらい少ないです。

探すだけでも意外と時間を食います。

従って、自分のレビューを載せるだけのサイトは信用度は非常に低いです。

「私も使ってみました、これはスゴイです！」なんてレビューがあれば、まず嘘です。自作自演が見え見えです。

但し、きちんとした論理的な説明があれば別ですよ。

とにかく、

**情緒的に「スゴイ！」だとか「クズだ！」とかだけ書いてある**

**レビューは参考から外しましょう。**

**2チャンネルと同じレベルですから・・・。**

**最も参考になるのは、一般の訪問客の意見を集めているレビュー・サイトです。**

とは言っても、ほとんどのマニュアルにレビューの書き込みは入っていません。  
投稿されるレビューがゼロのものがほとんどです。

その中で、

**レビュー投票が多いものは、いろんな意味で話題性があるということです。**  
すなわち、「ゴミ商材」の可能性が高いかもしれないということでもあります。

このタイプのレビューは、仲間同士での自作他演、他作自演はありますが、  
一般の訪問客から非常に冷静な分析や意見が述べられている場合があります。

**理由や論理がはっきりした意見は、最も真実に近いでしょう。**  
**まず間違いなく信用できます。**

先ほども言いましたが、  
2チャンネルのような情緒的な意見は無視してください。

ここでは、レビューで書かれていることを読みながら、  
【自作自演のレビューまたはグループでつるんだ自作他演】  
を選別できる**臭覚を身に付ける訓練**にも大いに役立ちます。

## ■調査ステップ5・・・販売ページから見えること

販売ページには多くの**実績写真**や**購入者の声**が載せられています。

まず、**これらは自作自演することができる**ということを頭に入れておいてください。ネットビジネスの分野で、たいてい出ている札束の画像なんて売っているわけです。これを読んでいる、あなただけって札束の写真を載せることは可能なわけです。

どの社会も同じですが、こういうことをする輩が居ますので、真面目にマニュアルを作成している人も同じような目で見られるということがあります。

しかし、こういう悪意は決してゼロにすることはできません。真面目にやっている著者や販売者と区別する目を養わねばならないのです。

ともかく、

**実績写真や購入者の声は信用しないということを初期値に入れてから説明は読み進んでください。**

**自分をマイナスの方マイナスの方に引き込むつもりで読み進めましょう！**

例えば、ダイエットの実践前と実践後の比較写真。どう見たって、「モデルを使ったヤラセでしょ」というものがあります。モデルを使っているとしか思えないサイトもありますよ。

また、購入者の感想文。よく見ていくと、書き間違えたようなおかしい矛盾が生じていたりします。

**ただ、こういう自作自演をしているマニュアルは、ここに至るまでの調査ステップですでに警戒警報が出ているものが多いと思います。**

たいていは、

- ・ 著者に関して不透明である
  - ・ 情報企業家＝インフォプレーナー自体が著者である
  - ・ 他に出している商材が悪評である
- などのどれかが、すでにグレーゾーンであるはずです。

## ■調査ステップ6・・・アフィリエイトから見えること

アフィリエイトの**特典**や**キャッシュバック**

**あまり信用しないほうが賢明です**（; ㄥA`´´´

特に、キャッシュバックをしているアフィリエイトは、マニュアルの善し悪しに関係なく、無差別に軒並みやっているのが多いです。

何でも売ってしまえば勝ちという姿勢がありあり。  
必然的にレビューを書いている場合も、ほとんど自作自演が見え見えです。

**クズマニュアルにキャッシュバックを付けられても嬉しくないですよ。**  
**しかも、キャッシュバックはたいてい2ヶ月後・・・**

特典に関しては、  
**商材に関連するノウハウを自分で作成して付けているのは**  
**とても素晴らしいことだと思います。**

が、気をつけて欲しいのは、  
再販権付きの商材を沢山特典として付けたりしているケースも多いのですが、  
これはあまり意味が無いということです。  
再販権付きなんて、大した価値が無いから再販権付きなんです。  
基本的には、売れないから特典を付けているのです。

**クズマニュアルに、価値の無い再販権付き商材がおまけで付いても意味無いです。**

**「あまり信用しないほうが賢明です。」**

**と最初に言った理由の一つは**

**約束の特典を何度請求しても【なしのつぶて】を私自身が経験したからです。**

かなり稼いでいるアフィリエイトさんでしたが、  
「信用」した方がバカということなのでしょう。

人間臭さをアピールして信頼を勝ち得ていても、所詮、それも戦略。

作られた偽装であったと考えた方が理屈に合います。

**【戦略】であることは、もちろん良いのですよ。**

でも、**約束（契約）を反故にするならば最低です。**

「稼げないアフィリエイター」や「自分を英雄扱いにしてくれる人」には  
いたって親切・・・良いお客様だからです。

でも、このような人は、表向き「素敵な人」を演じながら、  
心の奥底では、「良いお客」などではなく、「格好のカモ」と  
ほくそえんでいるに違いありません。

自分よりも力がありそうだったり、自分とは合わない臭いがすれば、  
約束さえ守らない。

糊塗した人間の**本性**は、知らず知らずにどこかで剥げるものです。

さて、**宿題**は出来ましたでしょうか？

「簡単ラクラク速攻ダイエット」というダイエット・マニュアル  
**選別**ることができましたか？

あなたの信頼性指標はどう出ましたでしょうか？

---

---

「買って得？買って損？」アンケートサイト  
【buy 恩人】

URL : <http://buyonjin.okosiyasu.com/>  
<mailto:buyonjin@yahoo.co.jp>

---

---

## buy恩人 選別する フローシート

調査項目	結果	判定
①特定商取引法に準じる表記の有無	→ 特定商取引法に準じる表記がある 特定商取引法に準じる表記が無い	⇒ OK→②へ ⇒ 危険度MAX→検討中止
↓		
②販売者を完全に特定できるか？	→ 完全に特定できる 住所に不備・疑わしいところがある 電話番号が記載されていない	⇒ OK→③へ ⇒ 危険度MAX→調査か検討中止 ⇒ 危険度MAX→検討中止
↓		
③著者が明確であるか？	→ 明確である 明確ではない ・著者と販売者が同じかも不明 ・著者と販売者が同じ	⇒ OK→④へ ⇒ 警戒→④へ ⇒ 警戒か優良の両極端→④へ
↓		
④著者が実在の人物・会社であるか？	→ 実在である 実在が不明(怪しい)	⇒ OK→⑤へ ⇒ 警戒→⑤へ
↓		
⑤著者は執筆マニュアルのプロか？	→ 公にプロと認められる 自称プロが確認できるだけである	⇒ OK→⑥へ ⇒ 警戒→⑥へ
↓		
⑥該当マニュアルに悪評判はないか？	→ 悪評判は見当たらない 悪評判が目立つ	⇒ OK→⑦へ ⇒ 危険→⑦へ
↓		
⑦販売元は他の商材を出しているか？	→ 出していない 出している ・専門ジャンルのみで出している ・いろんなジャンルで出している ・販売者であったり著者であったりする	⇒ OK→⑨へ ⇒ OK→⑧へ ⇒ 警戒→⑧へ ⇒ 警戒→⑧へ
↓		
⑧出されている商材に悪評判のあるものはないか？	→ 一つでも悪評判があった 悪評判のあるものは無かった	⇒ 危険→⑨へ ⇒ OK→⑨へ
↓		
⑨販売者サイトの環境はどうか？	→ 無料ホームページを使っている 自社独自決済である	⇒ 危険→⑩へ ⇒ 危険→⑩へ
↓		
⑩商材説明ページの内容はどうか？	→ 成果写真の信憑性が薄い 購入者感想の信憑性が薄い マニュアルの本質に迫る文章が無い	⇒ 危険 ⇒ 危険 ⇒ 危険